

# 研 究 業 績 短 報

2003.1.1～2003.12.31

個人氏名ごとに（アルファベット表記順）2003年の研究業績を列記した。【業績区分】の順は1）単行本、2）雑誌論文等、3）学会発表、4）その他（学術記事・翻訳・研究ノート等）、5）演奏・上演等、6）作品、7）学会活動・社会活動等とした。

## 安達雅彦 (ADACHI, Masahiko)

### 5) 演奏・上演等

- (1)指揮：安達雅彦、フルート・オーケストラ：アヴァンテ岡山、第23回岡山フルートの会演奏会、おもちゃのチャチャチャ（作曲：越部信義・編曲：伊豆丸真美）ほか、2003年3月23日、岡山市民文化ホール、岡山市
- (2)指揮：安達雅彦、フルート・オーケストラ：フルート・アンサンブル セレーナ、第11回日本フルート・コンベンション2003FUKUOKA、歌劇「運命の力」序曲（作曲：G. ヴェルディ・編曲：S.B. マイアー）、2003年8月23日、アクロス福岡、福岡市
- (3)フルート：安達雅彦、ピアノ：青木俊子、ドラムス：江村 晋、照葉樹ファミリーコンサート、地上の星（中島みゆき）ほか、2003年6月29日、新見公立短期大学学生会館、新見市
- (4)フルート：安達雅彦、ピアノ：高見恒代、ふれあいコンサート、春の海（宮城道雄）ほか、2003年11月2日、草間台小学校、新見市
- (5)フルート：安達雅彦、照葉樹定期演奏会 Vol. 13、ファンタジー第10番（G.Ph. テレマン）ほか、2003年11月23日、まなび広場にいみ、新見市
- (6)フルート：安達雅彦、ピアノ：佐藤敦代、開校35周年記念コンサート、ヴェニスの謝肉祭（P. A. ジュナン）ほか、2003年11月26日、西大寺南小学校、岡山市

### 6) 作品

#### (1)作 曲

安達雅彦、自然との対話Ⅱ“OHOKUNINUSHI 2003”、作曲者により演奏、2003年11月23日、まなび広場にいみ

### 7) 学会活動・社会活動等

#### ・審査員

- (1)安達雅彦、第34回岡山県アンサンブルコンテスト、2003年1月11～12日、児島文化センター、倉敷市
- (2)安達雅彦、第27回岡山県高等学校総合文化祭日本音楽部門、2003年8月5日、岡山市民文化ホール、岡山市
- (3)安達雅彦、第44回岡山県吹奏楽コンクール、2003年8月9～12日、倉敷市民会館、倉敷市
- (4)安達雅彦、第13回日本クラシック音楽コンクール、2003年8月17日、児島文化センター、倉敷市
- (5)安達雅彦、第11回日本フルート・コンベンション・コンクール、2003年8月22～24日、アクロス福岡、福岡市
- (6)安達雅彦、第6回岡山学生フルート・コンクール、2003年9月28日、岡山シンフォニーホール、

岡山市

・シンポジウム・パネラー

(1)安達雅彦、平成15年度中・四国大学音楽教育学会、2003年10月10日、徳島文理大学、徳島市

## 土井英子 (DOI, Hideko)

### 2) 雑誌論文等

(1)土井英子：「療養上の世話」中心の看護業務概念に関する一私論——看護業務への主体的な取り組みを目指して——、*Quality Nursing*、Vol. 9 No. 2、63-74、2003

看護師が専門的業務に伴う責任の大きさを自覚・反省する大きな契機となった褥瘡裁判と呼ばれる一件の訴訟から、看護業務の理解の在り方について再考したものである。それは、「療養上の世話」が本来の看護業務の中核であるとの見方を歴史的に説き明かした上で、「療養上の世話」が現代医療においてもつ意義を明らかにし、さらには看護業務の法的概念を批判的に再構成することを通じて、「療養上の世話」を中心に据える新たな看護理解を提唱することを目指した。そして、「診療の補助」業務を限定的に捉える一方、「療養上の世話」業務を通常よりも広く理解し、看護業務における看護師の主体性を強調した。以上のような「療養上の世話」を中心に据える筆者なりの新たな看護業務の概念理解を提示するとともに、このような看護理解における「療養上の世話」への「医師の指示」の可否の問題について論じた。

(2)東谷美恵子 山下妙子 林千加子 土井英子 定金直美 小野晴子：看護基礎教育終了時における看護技術の期待度 —O県中規模以上の病院の看護管理者に焦点をあてて—、岡山県看護教育研究会誌、1-5、2003年8月

看護技術の習得においては、確実な看護技術の習得を目指しているが、学生の看護技術の経験にはバラツキも多く、技術項目によっては十分とはいえない。臨床現場では看護基礎教育終了時点の学生に看護技術の習得を、何をどこまで期待しているのか知るためにO県200床以上の病院に勤務する看護管理者224名、31施設の看護管理者を対象として調査した。回収率68.0%であった。生活の援助技術は「臨地実習で実施」し、できるところまで期待しており、診療の補助技術は「就職してから実施」が多く「かなり指導」し、できるまでは期待していないという結果であった。

(3)定金直美 土井英子 実盛美幸 東谷美恵子 山下妙子 林千加子 小野晴子：看護基礎教育終了時における看護技術の経験率と自己評価に関する実態調査、岡山県看護教育研究会誌、4-9、2003年8月

看護教育現場では、講義を始め、学内演習や臨床実習を通して、看護技術の確実な習得をめざして教授活動を行っている。しかし、近年、看護技術の低下が指摘されるなか、基礎教育終了時に看護技術をどの程度経験し、習得すべきか十分な検討が行われているとはいえない。本稿では、卒業直前の看護師養成施設複数校の看護学生を対象に、看護技術の経験や自己評価を調査した。診療補助技術は未経験率が日常生活援助技術に比べて高く、診療の補助技術は自己評価が低い結果であった。

### 3) 学会発表

(1)林千加子 山下妙子 東谷美恵子 土井英子 定金直美 小野晴子：看護基礎教育終了時における看護技術の期待度 —O県中規模以上の病院の看護管理者に焦点をあてて—、第34回日本看護学会看護管理学会、三重県三重総合福祉センター、2003年11月7日

(2)東谷美恵子 山下妙子 林千加子 土井英子 定金直美 小野晴子：看護基礎教育終了時におけ

る看護技術の期待度 ―O県中規模以上の病院の看護管理者に焦点をあてて―、岡山県看護教育研究会、川崎医療福祉大学、2003年8月23日

(3)真壁幸子 太田浩子 土井英子 金山時恵 小野晴子 古城幸子：3年間のリスクマネジメント研修の評価と参加者の意識の変化―臨地実習施設連絡会議にて―日本看護学教育学会第13回学術集会、長野県長野ビッグハット、2003年8月2-3日

(4)土井英子：患者の個人情報保護に関する看護師の意識、第4回日本赤十字看護学術集会、日本赤十字広島看護大学、2003年6月6日

(5)定金直美 土井英子 実盛美幸 東谷美恵子 山下妙子 林千加子 小野晴子：看護基礎教育終了時における看護技術の経験率と自己評価に関する実態調査、日本看護研究学会 近畿／中国・四国地方会、第16回学術集会、神戸 UNITY、2003年3月16日

(6)小野晴子 土井英子 杉本幸枝：静脈注射に関する基礎看護教育の現状、岡山臨床看護研究会、岡山大学医学部保健学科、2003年3月9日

#### 4) その他(学術記事・翻訳・研究ノート等)

(1)杉本幸枝 小野晴子 土井英子：クラレメディカル受託研究「粘弾性樹脂(ゲル)を素材としてリサイクル可能な床ずれ予防具の評価」

(2)古城幸子 金山時恵 杉本幸枝 木下香織 真壁幸子 栗本一美 太田浩子 土井英子：両備糧園記念財団助成金 生物化学部門 表彰 両備スポーツマンクラブ、2003年10月1日

#### 7) 学会活動・社会活動

(1)土井英子：岡山県看護協会「まちの保健室」ボランティア、岡山市、2002年2003年

(2)土井英子：岡山県看護協会専門能力向上・開発研修会「看護研究Ⅱ」アドバイザー、2002年2003年

(3)土井英子：介護認定審査会委員、阿新地域

(4)土井英子：特別講演「チーム医療における看護師の職業的責任―療養上の世話中心の看護理解」国立高知病院附属看護学校、2003年3月5日

(5)土井英子：講演「高齢社会におけるボランティア」新見市介護予防ボランティアの会、新見市、2003年2月28日

### 藤井敬美 (FUJII, Hiromi)

#### 3) 学会発表

(1)井関智美、塚本幸恵、瀧崎佐津紀、奥山明香、種坂こずえ、藤井敬美、松永美輝恵、三上ゆみ：高齢者世帯の家事行動の分析―高齢期(前期・後期)別及び世帯別の比較から―、第11回日本介護福祉学会、金城大学、2003年9月20日・21日

#### 7) 学会活動・社会活動

(1)藤井敬美：講義・実技指導「住宅・福祉機器に関する知識」「食事の介護」「排泄・尿失禁の介護」「衣服着脱の介護」 ホームヘルパー2級養成講座 2003年9月28日 新見公立短期大学

(2)藤井敬美：講義・実技指導「ケア計画の作成と記録、報告の技術」 ホームヘルパー2級養成講座 2003年10月12日 新見公立短期大学

## 福原博子 (FUKUHARA, Hiroko)

### 1) 単行本

- (1) 福原博子：この母ありて (分担)、「もうすぐ『ロクイチ』」、橋本和子他編著、pp.19-20、西日本法規出版、岡山、2003年3月24日

看護職としての原点である母への思いを語った。

- (2) 福原博子：母性症状分類別看護過程と援助技術 (分担)、妊娠期 問診、丸山知子他編、pp.190-192、日総研出版、名古屋、2003年7月18日

1997年に出版されたものの改訂版。母性看護学領域のウェルネス看護診断による展開と、妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期の援助技術がまとめられている。

### 3) 学会発表

- (1) 栗本一美、古城幸子、金山時恵、太田浩子、白神佐知子、木下香織、真壁幸子、福原博子：看護基礎教育における実習場面での看護ジレンマに関する予備的調査－基礎看護学実習Ⅰを経験した学生の体験を通して－、2003年8月8日、第34回日本看護学会－看護教育－、石川厚生年金会館(金沢市)

## 原田信之 (HARADA, Nobuyuki)

### 1) 単行本

- (1) 原田信之、他47名：「奥間大親と察度王－琉球王朝始祖伝説をめぐって－」、福田晃監修、『伝承文化の展望－日本の民俗・古典・芸能－』、三弥井書店、東京、2003年1月、pp.122-136

日本の民俗・古典・芸能を通して伝承文化を多角的に展望することを試みた論文集。原田は琉球王朝伝説についての論文を執筆した。琉球国察度王の生涯には、天人女房譚と炭焼長者譚という昔話が逸話として組み入れられて伝承されている。それらの意味を、奥間一族等の問題とからめて考察した。科学研究費補助金／基盤研究C／研究課題「南西諸島における英雄伝説の調査研究」の成果の一部。

- (2) 原田信之：『南西諸島における英雄伝説の調査研究』、単著、平成13年度～平成14年度科学研究費(基盤研究(C)(2))研究成果報告書、2003年3月、pp.1-95

原田個人を研究代表者とする平成13年度～平成14年度科学研究費の研究成果報告書である。単著で刊行した。テーマ「南西諸島における英雄伝説の調査研究」に基づいて広範な南西諸島全域(奄美諸島、沖縄諸島、先島諸島)の英雄伝説を実地調査し、考察を加えた。第1章 研究概要、第2章 沖縄本島文化圏の英雄伝説、第3章 奄美文化圏の英雄伝説、第4章 八重山文化圏の英雄伝説。

### 2) 雑誌論文等

- (1) 原田信之：「沖永良部島の世之主伝説－琉球王朝関連伝説をめぐって－」、「人文科学論叢」(備北人文科学学会)、1、pp.32-54、2003

鹿児島県の沖永良部島には、琉球北山王の子とされる世之主の伝説が伝えられている。沖永良部島で新たに採集した世之主をめぐる伝説を中心に考究した。科学研究費補助金／基盤研究C／研究課題「南西諸島における英雄伝説の調査研究」の成果の一部。

- (2) 原田信之：「岡山県における玄賓僧都伝説の研究」、「文化、芸術、教育活動に関する研究論叢」(両備裡園記念財団)、16、pp.12-47、2003

岡山県各地に伝承されている玄賓僧都の伝説を総合的に研究したもの。岡山県における玄賓僧都の伝説

は、旧備中国に集中して伝承されており、その伝承状況は極めて注目されるものであることを明らかとした。平成13年度第23回岡備檀園記念財団研究助成金受賞論文。

- (3)原田信之：「備中国における玄賓終焉地伝説」、「論究日本文学」(立命館大学日本文学会)、79、pp.29-40、2003

これまで存在がほとんど知られていなかった備中国の玄賓終焉地伝説について考察したもの。玄賓終焉地伝説のある岡山県矢掛町小林には「僧都」という地名と、玄賓が葬られたとされる五輪塔がある。矢掛町小林僧都の五輪塔周辺部にはかつて玄賓が草庵を結んだという伝承が存在し、その地にあったという「玄賓庵」は矢掛町小林岡本谷にある大通寺の末寺であった。また、矢掛町小林および矢掛町宇角周辺には玄賓の伝説が多数伝承されている。

### 3) 学会発表

- (1)原田信之：「草案集」、第50回唱導研究会例会、2003年3月21日、立命館大学(京都市)  
(2)原田信之：「備中国の玄賓伝説と湯川寺縁起」、第47回立命館大学日本文学会大会、2003年6月8日、立命館大学(京都市)

### 7) 学会活動・社会活動等

- (1)日本昔話学会 委員  
(2)奄美・沖縄民間文芸学会 常任委員  
(3)立命館大学日本文学会 評議員  
(4)備北人文科学学会 幹事・会誌編集委員長  
(5)公立短期大学図書館協議会  
(6)中国・四国・九州地区公立短期大学図書館協議会  
(7)岡山県図書館協会理事  
(8)岡山県短期大学図書館協議会  
(9)原田信之：講演「口承文学の魅力—伝説・昔話・世間話—」、昭和二桁医会、2003年10月2日、倉敷国際ホテル(倉敷市)

## 逸見 英枝 (HENMI, Fusae)

### 3) 学会発表

- (1)森下陽子、戸村和子、西田照子、宮長邦江、桜静江、逸見英枝：リスクマネジメントの意識を高める取り組みと今後の課題、岡山県看護協会阿新支部研修会、新見市健康福祉センター 2003. 2. 1

### 7) 学会活動・社会活動等

- (1)岡山県介護保険審査会  
(2)岡山県健康の森学園養護学校評議員  
(3)岡山県健康の森学園サービス向上委員会、第三者委員  
(4)新見市男女共同参画推進会議委員  
(5)哲多町行政推進審議会委員(教育部会)

## 東 俊一 (HIGASHI, Shun-ichi)

### 2) 雑誌論文等

- (1)東 俊一、須河内貢、村田恵子：施設実習における実習生の目的・課題意識と学習内容に関する研究、保育士養成研究、20：25-40、2003. 3. 25

本研究では、保育実習Ⅰ（施設実習）において、実習生が認識している現実的な目的・課題意識と学習内容の実際に検討を加えて行くことを目的として、施設実習の直前と直後の2回に渡り質問紙による調査を行った。調査内容は施設実習に対する不安について、養成校で学習した専門知識や技能に対する認識であり、これらに対する実習前後の変化からのアプローチを行った。その結果、学生は利用者とのかかわりを中心的課題として実習に取り組み、その課題に対する基礎的レベルにおいては学習成果をあげているが、専門知識や技能を活用して個々の利用者に応じた適切な援助活動には至らない場合が多いことが示唆された。

### 3) 学会発表

- (1)東 俊一：知的障害者入所施設における外出支援、日本行動分析学会第21回大会、岡山、2003. 8. 4  
(2)東 俊一：知的障害者の就労に関する意識調査、第41回日本特殊教育学会、宮城、2003. 9. 20  
(3)東 俊一：知的障害児の相互作用に関する小集団指導の効果、日本行動療法学会第29回大会、鹿児島、2003. 10. 24  
(4)阿部玲奈、東 俊一：自閉症児の機能的な音声レパトリの形成過程、日本行動療法学会第29回大会、鹿児島、2003. 10. 24

### 7) 学会活動・社会活動等

- (1)東 俊一：「思春期の子どもと親の関わり方」、総社市立総社中学校保護者研修会、岡山、2003. 2. 27  
(2)東 俊一：「子どもの心の成長と親の接し方」、総社市立新本小学校学校保健委員会、岡山、2003. 2. 28  
(3)東 俊一：「いろいろな子どものサインの見つけ方」、総社市立西小学校保健委員会、岡山、2003. 6. 19  
(4)東 俊一：「発達と行動～望ましい行動を育成するために～」、岡山県健康の森学園特別支援教育研修会、岡山、2003. 8. 27  
(5)東 俊一：「乳幼児心理、子どもの発達段階における心理『子ども行動に見た心を探る』、大佐町保育サポーター養成講座、岡山、2003. 9. 30  
(6)東 俊一：「揺れ動く思春期の中学生に対しての親や家庭の対処のあり方は？」、総社市立総社中学校2年B組学級懇談会、岡山、2003. 11. 22

## 井関 智美 (ISEKI, Satomi)

### 1) 単行本

- (1)成清美治、国定美香、谷川和子、藤井博志、新野三四子、加納光子、山下裕史、内田富美江、久保田トミコ、山崎イチ子、伊達京子、西田真寿美、山岡喜美子、井関智美、高井逸史：成清美治、加納光子、久保田トミコ編、第13章終末期の介護、新・介護福祉概論、学文社、東京都、2003年4月30日、pp.224-256、

高齢者は自宅で死にたいと希望する者が多いことや、介護保険制度が利用者の意志決定重視の理念を持っていることから、医療機関でなく生活の場である在宅や施設で死を迎えたいとする高齢者の増加が予測される。これらの場での終末期の介護は専門性の高い介護の役割であるといえる。そこで、終末期の人を安らかな死へと導くように、終末期の人の特徴である身体的、精神的、社会的、霊的苦痛を理解するための基礎的知識、それぞれの苦痛の緩和への援助の方法、危篤時の観察報告の要点とその援助の方法、臨終時と死後における処置の仕方と態度について解説した。

## 2) 雑誌論文

- (1)井関智美、三上ゆみ、塚本幸恵、瀧崎佐津紀、奥山明香、種坂こずえ：家事実態調査 その2－高齢者と学生の洗濯と掃除行動の検討－、四国老人福祉学会誌、22巻、pp.77－80、2003年3月29日

介護教育の中の在宅介護は重要な教育の柱である。在宅介護は身体援助と家事援助がある。家事援助場面の実習で生活体験の少ない学生は戸惑いが多いと良く聞く。その原因として、高齢者と学生の家事のやり方（行動）には違いがあることが予測される。高齢者と学生間で洗濯や掃除行動を比較した研究は見当たらない。そこでこれらを比較検討し、家事援助に関する在宅介護教育の課題を明らかにすることを目的に研究した。その結果、高齢者が学生より種々の道具を用いて洗濯や掃除を頻回にしており、季節や昔からの習慣等の文化的な行動も認められ、学生と高齢者の家事行動に差があった。これら的高齢者の洗濯と掃除行動を高齢者の家事の特性として学生に教育することを、今後の在宅介護教育の課題としたい。

## 3) 学会発表

- (1)井関智美、塚本幸恵、瀧崎佐津紀、奥山明香、種坂こずえ、藤井敬美、松永美輝恵、三上ゆみ：高齢者世帯の家事行動の分析－高齢期（前期・後期）別及び世帯別の比較から－、第11回日本介護福祉学会、福井県・金城大学、2003年9月20日・21日

## 7) 社会活動等

- (1)井関智美：新見社会福祉協議会主催による在宅介護福祉サービス展で「介護予防について」の講演を2月16日に新見市の社会福祉センターでおこなった
- (2)井関智美：高梁・川上・上房合同介護福祉士会研修会で「介護におけるターミナルケア」の講演を5月24日に高梁市の総合福祉会館で行なった。
- (3)井関智美 塚本幸恵 松永美輝恵：阿新地域ホームヘルパー協議会の研修会で「全身清拭・洗髪について」 講義・演習を2003年8月30日に新見公立短期大学でおこなった。
- (4)井関智美：上田学園ホームヘルパー2級養成講座で「ホームヘルプ概論」の講義を2003年9月7日に新見公立短期大学でおこなった。
- (5)井関智美：上田学園ホームヘルパー2級養成講座で「共感理解と基本的態度の形成」の講義を2003年10月5日に新見公立短期大学でおこなった。
- (6)井関智美：上田学園ホームヘルパー2級養成講座で「サービス提供の基本的視点」「家事援助に関する知識と方法」の講義を2003年10月12日に新見公立短期大学でおこなった。

## 石田純郎 (ISHIDA, Sumio)

## 2) 雑誌論文等

- (1)石田純郎：韓国江華島・伝灯寺の薬師如来、日本医事新報、4110号、67－68頁、2003年2月1日

- (2)石田純郎：小児科の歴史 その⑩ 『通俗看病法全』（高橋金一郎著 明治26（1893）年刊）に  
みる小児の看護、岡山県小児科医会会報、24号、34-37頁、2003年2月15日
- (3)石田純郎：世界医学史の旅① 「ターヘル・アナトミアの街」 グダンスク散歩、ミクロスコピ  
ア、20巻1号、52-55頁、2003年2月28日
- (4)石田純郎：シーボルトとレントゲンの郷、ヴェルツブルク、日本医事新報、4115号、63-65、2003  
年3月8日
- (5)石田純郎：台北・台中の医学史博物館 -台湾医史跡紀行- 、日本医事新報、4120号、49-52  
頁、2003年4月12日
- (6)石田純郎：12世紀末のクメール文化圏の施療院、日本医史学雑誌、49巻1号、36-37、2003年3  
月20日
- (7)石田純郎：オランダの外科医ギルドの全盛期 -17、18世紀のギルド規約と外科医数の推移、洋  
学11、1-24頁、2003年3月10日
- (8)石田純郎：古代巨石建造物の石切り場 -エジプト、タイ、そして播磨、日本医事新報、4124  
号、48-50頁、2003年5月10日
- (9)石田純郎：世界医学史の旅② メルボルン医史跡散歩、ミクロスコピア、20巻2号、58-61頁、  
2003年5月29日
- (10)L. J. T. マロフィー原著 石田純郎訳・解説：ウロスコピー（Uroscopy、尿診）について（上）、  
医譚（日本医師史学会関西支部機関紙）、復刊79号、49-56頁、2003年6月1日
- (11)石田純郎：ドイツ地方小都市の旅 バンベルク、アイスレーベン、レムゴそしてワイマール、日  
本医事新報、4129号、47-51頁、2003年6月14日
- (12)石田純郎：医史学研究における海外フィールド調査の検討 -実施方法、その長所と限界、医学  
教育への利用、人文科学論叢、1巻、19-31頁、2003年3月31日
- (13)石田純郎：慶州・南山の石仏深訪の旅、日本医事新報、4137号、48-51頁、2003年8月9日
- (14)石田純郎：世界医学史の旅③ 金属活字印刷史紀行(1)、ミクロスコピア、20巻3号、46-48頁、  
2003年8月28日
- (15)石田純郎：カイロ医史跡散歩 （上）、日本医事新報、4143号、47-49頁、2003年9月20日
- (16)石田純郎：カイロ医史跡散歩 （下）、日本医事新報、4144号、45-47頁、2003年9月27日
- (17)石田純郎、メコン河畔にて、日本医事新報、4148号、49-52頁、2003年10月25日
- (18)石田純郎・小田皓二：プレスラウ（現ヴロツラフ）の今昔 -102年前のドイツ留學生の絵葉書  
から、一滴、11号、1-53頁、2003年10月
- (19)石田純郎：世界医学史の旅④ 金属活字印刷史紀行(2)、ミクロスコピア、20巻4号、48-50頁、  
2003年11月28日
- (20)L. J. T. マロフィー原著 石田純郎訳・解説：ウロスコピー（Uroscopy、尿診）について（下）、  
医譚、復刊80号、108-114頁、2003年12月15日
- (21)石田純郎：続 慶州・南山の石仏深訪の旅、日本医事新報、4154号、47-50頁、2003年12月6日  
3）学会発表等
- (1)石田純郎、12世紀末のクメール文化圏の施療院、第104回日本医史学会大会、2003年4月12日、  
九州大学医学部百年講堂



- (2)石田純郎、『解体新書』の原著、1734年（オランダ語版原著刊行年）までに刊行されたドイツ語、ラテン語、フランス語版『解剖学表』の現物調査 速報、日本医史学会関西支部2003年春季大会、2003年6月1日、京都市京大会館
- (3)石田純郎、『解剖学表』（『解体新書』の原著、いわゆる「ターヘルアナトミア」）の異版の研究、徳島科学史研究2003年総会、2003年8月16日、高松市屋島西公民館
- (4)石田純郎、エジプトの階段ピラミッドと熊山遺跡、熊山遺跡研究会、2003年9月27日、岡山県万富町万富公民館
- (5)石田純郎、16世紀、府内のアルメイダの病院と同時代のスペインの病院について、2003年洋学史学会・日本医史学会関西支部2003年秋季大会合同大会、2003年10月12日、中津市川島病院
- (6)石田純郎、中央ヨーロッパの薬局の装飾と古代ギリシア神話、日本薬史学会平成15年度年会、2003年11月15日、東京都品川区昭和大学上条講堂
- (7)石田純郎、オランダの外科医ギルドの歴史－蘭学の知識の母体の歴史、第10回備北人文科学学会、2003年12月12日、新見公立短期大学

#### 6) その他

##### ・市民への講演

- (1)石田純郎、オランダから見た中津蘭学、蘭学の里・中津シンポジウム、2003年10月11日、中津市中津文化会館
- (2)石田純郎、小児保健1、小児保健2、保育サポーター養成講座、21世紀職業財団、2003年5月10日、岡山市まきび会館
- (3)石田純郎、小児保健1、小児保健2、保育サポーター養成講座、21世紀職業財団、2003年10月28日、新見市まなび広場にいみ

##### ・他学での講義

- (1)山形大学医学部 医学史1、2 2003年5月26日
- (2)広島大学医学部 医学史1、2 2003年9月25日
- (3)岡山大学医学部 医学誓詞の歴史 医学倫理 2003年10月9日
- (4)岡山大学医学部 医学概論、医学史 1～8の内、1と2 2003年12月9、16日

##### ・地域での活動

日本医史学会理事、日本医史学会関西支部理事・学会誌『医譚』編集委員長、洋学史学会理事、日本薬史学会評議員、日本医学教育学会評議員、備北人文科学学会幹事・事務局長

##### ・雑文

- (1)石田純郎、大学建造物の保存、日本医事新報、4106号、102頁、2003年1月4日
- (2)石田純郎、韓国・順天市の観光バス、日本医事新報、4134号、9－10頁、2003年7月19日

## 石橋由美 (ISHIBASHI, Yumi)

#### 1) 雑誌論文等

- (1)嘉数朝子、石橋由美、上地亜矢子、大城りえ：女子大生の家族観と性差観－学歴と地域差、琉球大学教育学部教育実践総合センター紀要、10：pp.47－55、2003年3月  
内容要旨：女子大学生を対象に、ジェンダー意識と結婚観・家族観について質問紙調査を実施し、その地

域差（岡山県・沖縄県）と学歴差（短期大学・4年制大学）を検討した。地域差として、沖縄県の女子大学生のほうが岡山県よりも性別役割分業意識が強く伝統的なジェンダー観をもっていることが明らかになった。学歴差として、沖縄の4年制大学女子学生はキャリア選択として継続就業を希望する者が多いが、シングルの生き方への共感が低く性別役割分業に賛成する者が多く、伝統的なジェンダー意識を保持しつつキャリア志向も強いというアンビバレントな価値観を持つことが示された。

## 2) 学会発表

- (1)嘉数朝子、石橋由美：大学生の将来の仕事と子育てのバランスⅠ、日本心理学会第67回大会（論文集 p.1313）、2003年9月13日、東京大学（東京都）
- (2)石橋由美、嘉数朝子：大学生の将来の仕事と子育てのバランスⅡ、日本心理学会第67回大会（論文集 p.1314）、2003年9月13日、東京大学（東京都）

## 3) その他

### ・雑誌（エッセイ）：

- (1)石橋由美：保育のヒント：保育所がもうひとつの安心できる居場所になるように、保育の友（全国社会福祉協議会）、51(5)：p.69、2003年5月1日
- (2)石橋由美：保育のヒント：あそびのなかに生まれる跳躍のきっかけ、保育の友（全国社会福祉協議会）、51(7)：p.69、2003年7月1日
- (3)石橋由美：保育のヒント：語りかけ、聴きとること、保育の友（全国社会福祉協議会）、51(9)：p.69、2003年9月1日
- (4)石橋由美：保育のヒント：友だちとつながる「共感的あそび」、保育の友（全国社会福祉協議会）、51(11)：p.77、2003年11月1日

### ・雑誌連載（保育計画）：

- (1)広島県保育連盟連合会カリキュラム委員会（石橋由美他12名）：2歳児年間指導計画、保育の友（全国社会福祉協議会）、51(4)：pp.68-69、2003年4月1日
- (2)広島県保育連盟連合会カリキュラム委員会（石橋由美他12名）：2歳児4月の指導計画（4月～5月2週の案）、保育の友（全国社会福祉協議会）、51(4)：pp.70-71、2003年4月1日
- (3)広島県保育連盟連合会カリキュラム委員会（石橋由美他12名）：2歳児5月の指導計画（5月3週～6月の案）、保育の友（全国社会福祉協議会）、51(5)：pp.66-67、2003年5月1日
- (4)広島県保育連盟連合会カリキュラム委員会（石橋由美他12名）：2歳児6月の指導計画（保育参加のデイリープログラム）、保育の友（全国社会福祉協議会）、51(6)：pp.62-63、2003年6月1日
- (5)広島県保育連盟連合会カリキュラム委員会（石橋由美他12名）：2歳児7月の指導計画（7月～8月の案）、保育の友（全国社会福祉協議会）、51(7)：pp.66-67、2003年7月1日
- (6)広島県保育連盟連合会カリキュラム委員会（石橋由美他12名）：2歳児8月の指導計画（長時間保育の案）、保育の友（全国社会福祉協議会）、51(8)：pp.62-63、2003年8月1日
- (7)広島県保育連盟連合会カリキュラム委員会（石橋由美他12名）：2歳児9月の指導計画（9月～10月2週の案）、保育の友（全国社会福祉協議会）、51(9)：pp.66-67、2003年9月1日
- (8)広島県保育連盟連合会カリキュラム委員会（石橋由美他12名）：2歳児10月の指導計画（10月3週～11月の案）、保育の友（全国社会福祉協議会）、51(10)：pp.62-63、2003年10月1日

- (9)広島県保育連盟連合会カリキュラム委員会（石橋由美他12名）：2歳児11月の指導計画（11月第1週の週案と日誌）、保育の友（全国社会福祉協議会）、51(11)：pp.74-75、2003年11月1日
- (10)広島県保育連盟連合会カリキュラム委員会（石橋由美他12名）：2歳児12月の指導計画（12月～1月2週の案）、保育の友（全国社会福祉協議会）、51(12)：pp.62-63、2003年12月1日
- 4）学会活動・社会的活動等
- ・〈地方公共団体、公益団体、学会等の委員・役員等〉
  - (1)日本臨床発達心理士会中国四国支部会役員（2003. 4～）
  - (2)岡山県保育士養成協議会保育内容委員会委員（2003. 4～）
  - (3)広島県保育連盟連合会カリキュラム委員（2002. 12～2003. 12）
  - (4)岡山県保育士養成協議会保育内容委員会委員長（2002. 4～2003. 3）
  - ・〈講演活動〉
  - (1)新見市社会福祉協議会主催、子育てボランティア養成講座「子どもの発達と保育」、新見市、2003年2月18日
  - (2)広島県保育連盟連合会・広島県社会福祉協議会主催、2003年度第51回広島県保育事業研修大会、第3分科会「2歳児の現状と保育・子育て支援のあり方」講義、2003年6月12日
  - (3)広島県保育連盟連合会主催、公開保育・実践発表会の助言と講演「子どもの発達と遊び」、広島県深安郡神辺町立湯田保育所（2003年10月17日）、広島県賀茂郡河内町入野光保育園（2003年10月24日）、広島県三次市福祉保健センター（2003年10月28日）

## 伊藤博康 (ITO, HIROYASU)

### 3）学会発表

- (1)伊藤博康：介護保険による住宅改修、地域医療福祉学会、大阪例会、2003年1月18日、丸丹ビル会議室、大阪市
- (2)伊藤博康：ホームヘルパーによる医療行為の一部解禁について、地域医療福祉学会・大阪例会、2003年7月27日、丸丹ビル会議室、大阪市

### 4）その他（学術記事・翻訳・研究ノート等）

- (1)伊藤博康：阿新地域の合併による町づくりネットワーク、住宅会議、第59号、pp.37-39、2003年10月28日

### 7）学会活動・社会活動等

- (1)伊藤博康：21世紀の健康問題と介護保険について、にいみびしんむつみ会記念講演、2003年1月19日、新見文化交流会館 新見市
- (2)伊藤博康：21世紀における国民健康づくり運動、新見税務署健康講話、2003年3月27日、新見税務署会議室 新見市
- (3)日本住宅会議・関西会議 2003年度運営委員
- (4)日本公衆衛生学会 2003年度評議員
- (5)大阪大学大学院社会環境医学（環境医学教室）2003年度監事
- (6)知的障害者施設 つくし共同作業所 2003年度運営委員・将来構想委員
- (7)新見市社会福祉協議会 2003年度評議員

- (8)新見市社会福祉協議会 第三者委員会 2003年度委員・副会長
- (9)阿新社会福祉事業会 2003年度評議員
- (10)第60回国民体育大会 新見市実行委員会 2003年度委員

## 岩崎竹彦 (IWASAKI, Takehiko)

### 2) 雑誌論文等

- (1)岩崎竹彦：「日本における四季耕作図の展開について—新たな日韓文化比較に寄せて—」、『韓日（日韓）人文学聯合国際学術大会』、2003年号、pp317-341、2003年5月24日

室町時代に農耕と養蚕・機織を描いた耕織図が中国から日本に伝わると、平安時代以来の四季絵・月次絵の伝統を背景として、四季を交えた農村風俗画が生まれた。これが四季耕作図である。四季耕作図は江戸時代には民間にも広まり、明治以降も描き続けられている。日本人は何ゆえに四季耕作図を好んだのか。ここではそのことを明らかにするため、四季耕作図の歴史的発展段階を論述した。加えて、四季耕作図は江戸文化であったことを位置付けた。

- (2)岩崎竹彦：「鳥取県における十二月十三日の習俗（下）」、『岡山民俗』、第218号、pp19-27、2003年5月31日

鳥取県における12月13日の事例を詳細に分析することによって、キシクサンとはこの日の来訪神であり、12月13日は正月の神事始めであることを明らかにした。従来、12月13日の来訪神は報告されておらず、まったく新しい知見である。今後、中国山間地域のコト行事を視野に入れて考察することにより、歳神信仰に新生面の開拓できることを指摘した。加えて、キシクサンは奥出雲を中心としたタタラ文化と何らかの関係を有するものではないかとの指摘も行なった。

- (3)岩崎竹彦：「福祉と文化のまちづくり—回想法で輝く、人・時間・空間—」、岩崎竹彦編『福祉と文化のまちづくり—回想法で輝く、人・時間・空間—』、pp21-24、2003年7月13日

近年、高齢者福祉施設において実践されている回想法には年中行事や人生儀礼など、これまで民俗学が取り組んできた項目がいくつもあがっている。本稿では、「介護と文化」「民俗学と回想法」「民俗文化を用いた福祉」「回想によるマチづくり」などについて述べ、高齢者が生き生きと暮らしていけるマチづくりの方法について提言した。

- (4)岩崎竹彦：「フォークロリズムからみた節分の巻ずし」、『日本民俗学』、第236号、pp72-81、2003年11月30日

近年、民俗学界においてフォークロリズムが注目されている。このたび、その概念規定を明確にすべく『日本民俗学』誌上において特集が組まれ、編集委員会の依頼に応じて寄稿したもの。本稿は、節分に巻ずしを食べる風習をコマーシャリズムとマーケティングミックスの立場から述べ、あわせて世相史的観点から論述した。

### 3) 学会発表

- (1)岩崎竹彦：「日本における四季耕作図の展開について—新たな日韓文化比較に寄せて—」、韓日（日韓）人文学連合国際学術大会、2003年5月24日、東西大学、韓国釜山広域市

2003年の韓日（日韓）人文学連合国際学術大会は、韓日（日韓）人文学連合会（14学会連合）が主催し、東西大学・在釜山日本国総領事館が協賛、韓国日本近代学会の主管によって行なわれた。四季耕作図研究は日本国内でのみ消化しきれぬ問題ではなく、東アジア文化史の中に正しく位置づける必要のあることから、

本発表では広く韓国の人文学研究者に四季耕作図を素材とした新たな日韓文化比較研究の推進を呼びかけた。韓国では農耕図研究はいまだ緒についていないが、幸い農機具研究は若干進められており、本発表によって日韓両国の協力体制の第一歩が開かれた。

#### 4) その他

- (1)岩崎竹彦、平田隆邦、山本栄一：紙上討論「阿新の将来像を描く」、『備北新聞』、2003年1月1日

阿新地域の市町村合併についての座談会要旨記録。阿新地域の新たなネットワークづくりと将来への可能性を探るため、阿新の優位点を描き出しつつ、圏域のゾーニングを試みた。

- (2)岩崎竹彦：「精神文化としての怪談」、『山陽新聞』、2003年4月27日

教育現場の構造疲労は、共通の話題の欠如が要因の一つであるといわれている。であるなら、子どもたちの大好きな怪談や、どこのマチにも存在する不可思議空間の話を取り上げてはどうかと提案した。怪談や妖怪譚をばかばかしい迷信とするか、日本人の豊かな精神文化ととらえるかで立場はまったく変わってくることを述べた。

- (3)岩崎竹彦：「夜川体験」、『山陽新聞』、2003年5月25日

「夜川」とは夜の川に入り、眠っている魚を網ですくって捕る阿新地域に伝わる子どもの遊びである。そのおりの体験を記した。

- (4)岩崎竹彦：「人は旅して神になる」、『山陽新聞』、2003年6月15日

我々は旅をすることによってリフレッシュする。すなわち再生するのである。再生とはヨミガエルことで、それは黄泉返りに通ずる。旅の背景にある日本文化について論じた。

- (5)岩崎竹彦：「アラミタマ・ニギミタマ」、『山陽新聞』、2003年6月29日

アラミタマ・ニギミタマという怪光線を武器とするデジモン・シャッコウモンを題材とし、実はアラミタマ・ニギミタマとは日本人の靈魂観を考えるうえで重要なキーワードであることを述べた。

- (6)岩崎竹彦：「ピンピン、コロリ」、『山陽新聞』、2003年7月11日

「ピンピン、コロリ」という回想法のホームページで用いられていたフレーズを題材とし、現代日本人のポックリ信仰について述べた。併せて回想法の紹介を行なった。

- (7)岩崎竹彦：「水のチカラ」、『山陽新聞』、2003年8月15日

人間は元来死ななかつた、水浴びをして若返ったのだ、という東北ニューギニアのカイ族の神話を紹介して水の神秘的な力について考えた。水、すなわち川の流れは遠く霊界に結びつく信じられており、汚水は霊界でリフレッシュされたのち再び川上から流れてくる。このような大自然の循環構造について述べた。

- (8)岩崎竹彦：「神々のすむ理想郷」、『山陽新聞』、2003年9月21日

神々のすむ理想郷である天空他界と海上他界は、山と川によって繋がっている。ここでは日本人の描いたユートピアについて述べた。

#### 7) 学会活動・社会活動等

##### • 学会役員

東アジア人文学連合国際学術大会常任委員、日韓（韓日）人文学連合会日韓（韓日）合同常任委員会常任委員、近畿民俗学会理事、近畿民具学会幹事

##### • 社会活動

有漢町史編集委員（近世史部会副部会長）、新見市上市市民センター古文書教室講師、備北夏期

## 大学実行委員会委員

### ・講演活動等

- (1)シンポジウム「福祉と文化のまちづくりー回想法で輝く、人・時間・空間ー」、コーディネーター岩崎竹彦、パネリスト 岩井宏實・野村豊子・岩城晴貞・遊佐教寛・岩井洋・児嶋利津子、まなび広場にいみ大ホール（新見市）、2003年7月13日
- (2)岩崎竹彦：講演「正月の迎え方」、注連飾り教室「自分で注連飾りを作って迎える正月」、かのさと体験観光協会主催、哲多町只野コミュニティハウス、2003年12月14日

## 金山弘代（KANAYAMA, Hiroyo）

### 7）学会活動・社会活動等

- (1)金山弘代：講評 岡山県看護協会津山支部看護研究発表会、2003年2月1日、グリーンヒルズ津山
- (2)金山弘代：第17回中国四国ストーマリハビリテーション研究会 幹事、2003年8月23日、山口大学医学部
- (3)金山弘代：第15回中国四国ストーマリハビリテーション講習会 実行委員、2003年10月10日～10月12日、広島市立市民病院
- (4)金山弘代：講義「心理的援助」第15回中国四国ストーマリハビリテーション講習会、2003年10月10日、広島市立市民病院
- (5)金山弘代：講義「褥瘡の予防と対策——①創傷治癒のメカニズムと褥瘡」、岡山県看護協会阿新支部、2003年9月27日、新見市総合福祉会館
- (6)金山弘代：講義「褥瘡の予防と対策——②褥瘡のアセスメントと予防」、岡山県看護協会阿新支部、2003年11月1日、新見市総合福祉会館
- (7)金山弘代：講義「褥瘡の予防と対策——③褥瘡ケアの実際」、岡山県看護協会阿新支部、2003年11月29日、新見市総合福祉会館

## 金山和彦（KANAYAMA, Kazuhiko）

### 6）作品

- (1)金山和彦、「高梁川溪谷（F100・油彩）」、第37回大潮会岡山支部展、4月1日～8日、岡山文化センター1階展示室
- (2)金山和彦、「豪溪にて（F10・油彩）」、第11回大潮会岡山支部小品展、4月2日～8日、岡山文化センター1階展示室
- (3)金山和彦、「個展 金山和彦 展（洋画18点）」、11月17日～11月22日、大阪府立現代美術センター
- (4)金山和彦、「源流・風の溪谷（F100・油彩）」入選、第67回大潮会美術展、12月11日～24日、東京都美術館
- (5)金山和彦 「御洞溪谷 Odo Gorge（スチール、FRP、アルミニウム）」大佐町国際交流協会彫刻デザイン公募：作品採用 ニューヨーク州ニューパルツビレッジパーク

### 7）その他（雑文、講演、社会活動等）

- (1)金山和彦 「大佐幼稚園陶芸交流会（土っておもしろいな）」指導、2月4日、大佐幼稚園
- (2)大嶋 彰、神林恒道、梅澤啓一、新関伸也、松岡宏明、泉谷淑夫、小林 修、赤木里香子、萱のり子、金山和彦：平成15年度科学研究費補助金 研究基盤（B）（1）「美術教育における『鑑賞』学習のカリキュラム開発に関する研究」、平成15年6月採択
- (3)金山和彦「第10回教職の集い～造形活動の指導について～」ノートルダム清心女子大学、8月4日
- (4)金山和彦「風木谷フェスティバル 陶芸作品制作指導」思誠小学校、8月8日
- (5)金山和彦「卒業記念陶芸作品 制作指導」全4回 西方小学校、10月25日、11月7日、12月3日、1月13日

## 金山時恵 (KANAYAMA, Tokie)

### 2) 雑誌論文など

- (1)栗本一美、太田浩子、古城幸子、金山時恵、白神佐知子：看護基礎教育における実習場面での看護ジレンマに関する予備的調査－基礎看護学実習Ⅰを経験した学生の体験を通して－、第34回日本看護学会論文集－看護教育－、pp44－46、2003年12月26日、

基礎看護学実習Ⅰに臨んだ学生を対象に、学生が臨床場面で感じた看護ジレンマをどのように対処したのかを分析し、教育上の対応策を検討した。学生は、臨床場面で看護ジレンマを感じてはいるが、その看護ジレンマがどのような性質、内容であるか考える段階で止まっていることがわかった。今後の教育的対応として「何が倫理的問題かに気づく力」、「どうしたら解決できるか考える力」等を育成していく必要があることがわかった。

### 3) 学会発表

- (1)栗本一美、金山時恵、矢庭さゆり：公的介護保険サービス未利用者の現状と看護職の役割、第7回日本在宅ケア学会学術集会、大阪市、2003
- (2)真壁幸子、太田浩子、土井英子、金山時恵、小野晴子、古城幸子：3年間のリスクマネジメント研修の評価と参加者の意識の変化－臨地実習施設連絡会議にて－、日本看護学教育学会第13回学術集会、長野県、2003
- (3)栗本一美、金山時恵、太田浩子、白神佐知子、古城幸子、木下香織、真壁幸子、福原博子：看護基礎教育における実習場面での看護ジレンマに関する予備的調査－基礎看護学実習Ⅰを経験した学生の体験を通して－、第34回日本看護学会－看護教育－、石川県、2003

### 7) その他

- (1)古城幸子、金山時恵、杉本幸枝、真壁幸子、木下香織、土井英子、栗本一美、太田浩子、馬本智恵：両備裡園記念財団助成金、生物化学部門表彰、両備スポーツマンクラブ、2003年10月5日、「山間地域の在宅高齢者への健康・生活相談に関するITの活用－新見介護ネットワークの構築と利用者ニーズ分析－」
- (2)古城幸子、金山時恵、真壁幸子、栗本一美、太田浩子：井倉市民センター講座、新見介護ネットワーク、2003年11月18日
- (3)金山時恵：シンポジウム〈訪問看護ステーションにおける実習指導の現状と課題〉、「大学、短期大学の立場から」シンポジスト、岡山県訪問看護ステーション連絡協議会研修会、2003年10月16日

日、ピュアリティまきび孔雀の間、岡山市

- (4)古城幸子、金山時恵、栗本一美、藤井敬美：千屋ふれあいサロン、2003年3月20日、千屋市民センター、新見市

## 片山啓子 (KATAYAMA, Keiko)

### 5) 演奏・上演等

- (1)舞台演出：片山啓子、「にいまこどもフェスタ」－新見公立短期大学幼児教育学科第12回表現発表会－、2003年3月1日、まなび広場にいま大ホール、新見市、

### 6) 作品

- (1)舞台劇脚本：片山啓子、劇「かえるの恩返し」、「にいまこどもフェスタ」－新見公立短期大学幼児教育学科第12回表現発表会－にて上演、2003年3月1日、まなび広場にいま大ホール、新見市

### 7) 学会活動・社会活動等

- (1)片山啓子：新見市教育研修所「幼稚園部研修会」実技講師、2003年7月30日、新見公立短期大学学生会館、新見市  
(2)片山啓子：「2. 13にいまの日」実行委員  
(3)片山啓子：新見市健康増進施設建設に係る設計委託業者選定委員

## 木下香織 (KINOSHITA, Kaori)

### 2) 雑誌論文等

- (1)古城幸子・木下香織：老年看護学で取り上げた高齢者援助技術演習の効果、*NURSE EDUCATION*、第4巻第2号、pp19－27、2003年6月30日

看護学科2年次にしている老年看護学Ⅱの演習内容と教育効果について紹介した。『健康障害論』の「高齢者に特徴的な疾患と看護2（NANDAの看護診断を使って）」では、グループワークの内容をまとめた看護診断の関連図を示した。また、『生活環境論』でのバリアフリー体験学習、『高齢者援助技術』での「排泄パターンの変調」「身体可動性の障害」「栄養状態の変調」の各演習の方法と学生の学びを紹介した。演習による教育効果の評価としては、演習による学生の高齢者理解への影響の程度と、1年次の老年看護学Ⅰ終了時と老年看護学Ⅱ終了時の高齢者イメージ測定結果の比較結果分析した。

- (2)古城幸子・木下香織：老年看護学演習「栄養状態の変調」の教育方法の検討、第34回日本看護学会論文集－看護教育－、pp85－87、2003年12月26日

看護学科2年次に開講している老年看護学Ⅱの高齢者援助技術演習「栄養状態の変調」の教育効果を分析するため、課題レポートの内容を演習のねらいを設定した評価25項目に沿って抽出し、ねらいが達成できているか検討した。また、高齢者イメージ測定結果から演習の影響について分析した。

### 3) 学会発表

- (1)古城幸子・木下香織・馬本智恵：老年看護学の授業による学生の高齢者イメージの変化、日本看護学教育学会、2003年8月3日、長野市ビックハット・若里市民文化ホール；長野市  
(2)栗本一美・古城幸子・金山時恵・太田浩子・白神佐知子・木下香織・真壁幸子・福原博子：看護基礎教育における実習場面での看護ジレンマに関する予備的調査－基礎看護学実習Ⅰを経験した学生の体験を通して－、第34回日本看護学会－看護教育－、2003年8月8日、石川厚生年金会



館；金沢市

- (3)木下香織・古城幸子・馬本智恵：老年看護学実習での学生の Incident Report の分析、日本老年看護学会、2003年11月9日、兵庫県立看護大学；兵庫県明石市

#### 7) 学会活動・社会活動等

- (1)古城幸子・木下香織：高齢者の理解、2003年9月1日、8日、15日、介護老人福祉施設花岡荘（岡山県北房町）
- (2)古城幸子・木下香織：平成15年度岡山県介護支援専門員資質向上対策事業（専門研修課程）、2003年11月6日、10日、17日、くらしき健康福祉プラザ（倉敷市）、岡山ふれあいセンター（岡山市）、グリーンヒルズ津山（津山市）
- (3)古城幸子、難波正義、金山時恵、真壁幸子、木下香織、栗本一美、土井英子、太田浩子、福原博子、馬本智恵：両備糧園記念財団助成金 生物化学部門 表彰 両備スポーツマンクラブ15年10月1日「山間地域の在宅高齢者への健康・生活相談に関するITの活用－新見介護ネットワークの構築と利用者ニーズの分析－」
- (4)木下香織：介護認定審査会委員、阿新地域
- (5)木下香織：新見介護ネットでの健康相談

### 古城幸子 (KOJO, Sachiko)

#### 1) 単行本

- (1)古城幸子：「かかさん」、橋本和子、道廣睦子、谷田恵美子編著、「この母ありて」西日本法規出版、岡山市、2003、PP89－91

61名の看護職によるエッセイ集。執筆者それぞれの母親から受けた影響が、現在の看護職としての仕事の中でどのように生かされているのかを綴ったもの。「かかさん」は、母の人生をたどり、関わりのある人々の中で生かされ支えられながら、苦しい時代背景の中で楽天的に力強く大正・昭和の時代を生きた、一女性としての母を描いた。

#### 2) 雑誌論文等

- (1)古城幸子：看護教育を受けた高齢女性の幸福感、看護・保健科学研究、全国看護管理・教育・ケアシステム研究会（岡山）、Vol. 1、No. 3、PP27～32、2003

戦前戦後に、岡山大学附属看護学校を卒業した65歳以上の卒業生に、職業婦人としての人生を送ったことが現在の幸福感や生活満足度にどのような影響を与えているかを調査した。

- (2)古城幸子・木下香織：老年看護学で取り上げた高齢者援助技術演習の効果、ナースエデュケーション、4(2)、日綜研（東京）、PP19－27、2003

老年看護学演習の中で取り上げている、バリアフリー体験学習や高齢者に特徴的な看護診断である排泄の変調、身体可動性の障害、栄養状態の変調に関する演習プログラムの紹介と教育効果を明らかにした。

- (3)古城幸子・木下香織：老年看護学演習「栄養状態の変調」の教育方法の検討、第34回日本看護学会論文集－看護教育－、PP85－87、日本看護協会出版会（東京）、2003

老年看護学演習の一つとして「栄養状態の変調」に関する評価と教育効果を明らかにした。演習は3つの条件設定を行い、普通食を片麻痺の設定で自力摂取すること、嚥下障害、寝たきりランクCの設定でとろみ食を介助すること、そして咀嚼障害の設定でキザミ食を試みることを行なった。その教育効果を測定する評

価項目を示した。

- (4)栗本一美・金山時恵・太田浩子・白神佐知子・古城幸子・木下香織・真壁幸子・福原博子：看護基礎教育における実習場面での看護ジレンマに関する予備的調査、第34回日本看護学会論文集－看護教育－、PP44－46、日本看護協会出版会（東京）、2003

基礎実習において、学生が感じる看護ジレンマがどのような内容であるかを抽出し、その教育的な対応について検討した。今後の3年次の臨地実習において効果的な指導を行なうための予備的研究である。

### 3) 学会発表

- (1)真壁幸子・太田浩子・土井英子・金山時恵・小野晴子・古城幸子：3年間のリスクマネジメント研修の評価と参加者の意識の変化、日本看護学教育学会第13回学術集会、2003年8月2－3日、長野市ビッグハット、長野市、抄録集 P96
- (2)古城幸子・木下香織・馬本智恵：老年看護学の授業による学生の高齢者イメージの変化、第2報 老年看護学Ⅱ演習の影響、日本看護学教育学会第13回学術集会、2003年8月2－3日、長野市ビッグハット、長野市、抄録集 P191
- (3)古城幸子・木下香織：老年看護学演習「栄養状態の変調」の教育方法の検討、第34回日本看護学会－看護教育－、2003年8月7－8日、金沢市石川厚生年金会館、金沢市、抄録集 P41
- (4)栗本一美・金山時恵・太田浩子・白神佐知子・古城幸子・木下香織・真壁幸子・福原博子：看護基礎教育における実習場面での看護ジレンマに関する予備的調査、第34回日本看護学会－看護教育－、2003年8月7－8日、金沢市石川厚生年金会館、金沢市、抄録集 P22
- (5)木下香織・古城幸子・馬本智恵：老年看護学実習での学生の Incident Report の分析、日本老年看護学会 第8回学術集会、2003年11月8－9日、兵庫県立大学、明石市、抄録集 P125

### 7) 学会活動・社会活動等

#### ・講演

- (1)7月17日：「ケアマネジメントの理解」岡山県訪問看護婦養成講習会、岡山県看護会館
- (2)7月29日：「ケアマネジメントの課題」岡山県介護支援専門員資質向上対策事業（基礎研修課程）
- 1) 新見市保健福祉センター
- (3)9月1日：「高齢者理解 その1；老いのプロセス」花岡荘職員研修会、花岡荘食堂
- (4)9月13日：「高齢者理解 その3；倫理的課題」花岡荘職員研修会、花岡荘食堂
- (5)11月5日：「医学モデルから生活モデルへの転換」大津市民病院附属看護専門学校特別講義、看護学校大ホール
- (6)11月6日：「介護支援サービスの課題」岡山県介護支援専門員資質向上対策事業（専門研修課程）
- 2) 倉敷健康福祉プラザ プラザホール
- (7)11月10日：「介護支援サービスの課題」岡山県介護支援専門員資質向上対策事業（専門研修課程）
- 2) 岡山ふれあいセンター大ホール
- (8)11月17日：「介護支援サービスの課題」岡山県介護支援専門員資質向上対策事業（専門研修課程）
- 2) グリーンヒルズ津山 リージョンセンター ペンタホール
- (9)11月18日：「新見介護ネット」井倉市民センター講座、井倉中学校パソコン室

#### ・研究支援

看護研究発表論文作成指導 しげい病院・高梁中央病院

- 地域支援

新見介護ネット 責任者

- 委員

平成15年度 岡山県阿新地方振興局保健所委員会 委員

- 受賞

(1)平成15年 5月17日 岡山県地域医療事業功労者表彰 保健福祉部長表彰、三木記念ホール

(2)平成15年10月 1日 両備裡園記念財団助成金 生物化学部門 表彰 両備スポーツマンクラブ

## 光本弥生 (KOMOTO, Yayoi)

### 2) 雑誌論文等

(1)矢藤誠慈郎、岡本和子、山中 文、光本弥生、諏訪英広、湯藤定宗、須河内 貢：保育者養成カリキュラムに対する保育現場のニーズに関する調査研究、平成14年度全国保育士養成協議会ブロック研究助成及び報告書、2003年、(全国保育士養成協議会研究助成)

保育士養成課程のカリキュラム改善に資する資料を得るために、保育現場における養成カリキュラムへのニーズを調査し、その結果の分析・考察を行った。

### 7) 学会活動・社会活動等

(1)光本弥生：平成15年度 岡山県保育指導巡回指導員 神郷町立新郷保育園（神郷町）他4園

(2)光本弥生：平成15年度 広島市保育士研修会「上席保育士研修」講師 6月23日 1月20日

(3)光本弥生：平成15年度 全国私立保育連盟研究会 0歳児部会 講師 6月25日

(4)光本弥生：平成15年度 保育サポーター研修「子どもの遊びについて」講師

(5)光本弥生：平成15年度 北房町立水田保育園研究会 講師

## 栗本一美 (KURIMOTO, Kazumi)

### 2) 雑誌論文等

(1)栗本一美、太田浩子、古城幸子、金山時恵、白神佐知子：看護基礎教育における実習場面での看護ジレンマに関する予備的調査－基礎看護学実習Ⅰを経験した学生の体験を通して－、第34回日本看護学会論文集－看護教育－、pp.44－46、2003年12月26日

基礎看護学実習Ⅰに臨んだ学生を対象に、学生が臨床場面で感じた看護ジレンマをどのように対処したのかを分析し、教育上の対応策を検討した。その結果、学生は臨床場面で看護ジレンマを感じてはいるが、その看護ジレンマがどのような性質・内容であるか考える段階で止まっていることが分かった。教育的対応として「何が倫理的問題化に気づく力」と「どうしたら解決できるか考える力」などを育成していく必要があることが分かった。

### 3) 学会発表

(1)栗本一美、金山時恵、矢庭さゆり：公的介護保険未利用者の現状と看護職の役割、第7回 日本在宅ケア学会、2003年1月25日、大阪国際交流センター：大阪市

(2)栗本一美、古城幸子、金山時恵、太田浩子、白神佐知子、木下香織、真壁幸子、福原博子：看護基礎教育における実習場面での看護ジレンマに関する予備的調査－基礎看護学実習Ⅰを経験した学生の体験を通して－、第34回日本看護学会－看護教育－、2003年8月8日、石川厚生年金会

館：金沢市

4) その他(学術記事・翻訳・研究ノート等)

- (1) 本田彰子、正野逸子、牛久保美津子、近藤仁美、栗本一美、上野まり、鈴木育子、赤沼智子：訪問看護師の専門的教育に関する研究、平成13・14年度 千葉大学看護学部附属看護実践研究指導センター プロジェクト研究報告書、2003年5月
- (2) 古城幸子、難波正義、金山時恵、真壁幸子、木下香織、栗本一美、土井英子、太田浩子、福原博子、馬本智恵：両備裡園記念財団助成金 生物化学部門 表彰 両備スポーツマンクラブ15年10月1日「山間地域の在宅高齢者への健康・生活相談に関するITの活用－新見介護ネットワークの構築と利用者ニーズの分析－」

7) 学会活動・社会活動等

- (1) 古城幸子、金山時恵、栗本一美、藤井敬美：千屋ふれあいサロン、2003年3月20日、千屋市民センター：新見市
- (2) 古城幸子、太田浩子、真壁幸子、栗本一美、金山時恵：井倉市民センター講座介護ネット「さあ！ 新見介護ネットワークをして見ましょう！」、2003年11月14日、井倉中学校：新見市

**桑原一良 (KUWAHARA, Kazuyoshi)**

2) 雑誌論文等

- (1) 中島博、桑原一良ほか26名：生涯スポーツのすすめ－「女性スポーツ人口の増加を求めて」I－第19集、財団法人岡山県体育協会(岡山市)、(共同研究につき本人担当部分抽出不能)、2003年3月1日

近年生活様式の変化に伴い、健康やスポーツに対するニーズが多様化し、様々な形でスポーツに携わる人が増加傾向にあり、女性のスポーツ愛好者も徐々に増えつつあるが、男性に比すとその実施率が決して高いとはいえない。そこで本稿では女性スポーツに焦点をあて、女性を中心に多様な観点からスポーツ活動を実施、あるいは支援している団体等の取り組みをいくつか抽出し、検討を試みた。

- (2) 桑原一良、桑原直子：ラフカディオ・ハーンの名前に関する文化人類学的考察(2)、人文科学論叢第1巻、備北人文科学学会、pp. 1-18、2003年3月

「八雲名」にかかわったいろいろの記号をたどり、八雲を囲んできた時間・空間が織りなした知を掘りかえし、ハーンのこれまで見せなかった部分を浮かび上がらせる試みである。(1)に続いて、本稿では大隈重信の見抜いた八雲名に古今東西の知を意識の底深くに沈み込ませていたことを追究した。

- (3) 桑原一良：騎士の心性とスポーツ、岡山体育学研究第11号、pp. 1-12、2003年12月

ゲルマンないしアングロ・サクソンの民族の力の心性と数8との結節点が騎士の存在にあることをつぎとめた。近代スポーツルールが中世の騎士道精神に染まっていることは誰しも認めるところであるが、騎士道精神の心の動き、すなわち、騎士・貴族の心的態度がスポーツルールに織り込まれたことを文化人類学的手法と心性史的資料の読み取りによって解明した。

4) その他(学術記事・翻訳・研究ノート等)

- (1) 桑原一良、小糠しのぶ、天雲成津子、山田陽子、志茂淳子、志村美智子、別所聡美：「公立短期大学図書館の現状に関するアンケート」調査報告書、公立短期大学図書館改善要項検討委員会、2003年3月

- (2)桑原一良、小糠しのぶ、天雲成津子、山田陽子、志茂淳子、志村美智子、別所聡美：公立短期大学図書館振興に向けて－「改善要項」以後の動向と課題－、公立短期大学図書館改善要項検討委員会、2003年3月31日

#### 7) 学会活動・社会活動等

- (1)桑原一良、公立短期大学図書館改善検討委員会委員長2001年12月～2003年3月  
(2)桑原一良、日本体育学会岡山支部理事2003年4月～2005年3月  
(3)桑原一良、八雲会会員、2003年4月  
(4)桑原一良、岡山県立新見高等学校評議員、2003年4月～2004年3月  
(5)桑原一良、岡山県備北青年の家運営委員、2003年4月～2004年3月  
(6)桑原一良、岡山県体育協会普及委員、2003年4月～2005年3月  
(7)桑原一良、岡山県大学国際交流推進機構理事2003年9月2006年9月  
(8)桑原一良、講演「チーム員数の謎－ $8 \pm \alpha$ の法則」、「ライフパーク倉敷」市民学習センター、2003年6月19日  
(9)桑原一良、講演「古代オリンピアから始まるスポーツ施設の歴史について」、「ライフパーク倉敷」市民学習センター、2003年11月18日

### 真壁幸子 (MAKABE, Sachiko)

#### 3) 学会発表

- (1)真壁幸子、太田浩子、土井英子、金山時恵、古城幸子、小野晴子：リスクマネジメント研修における参加者の意識の変化－3年間の臨地実習施設連絡会議の評価－、日本看護教育学会第13回学術集会、2003年8月2日、長野市ビックハット・若里市民ホール、長野市  
(2)栗本一美、古城幸子、金山時恵、太田浩子、白神佐知子、木下香織、真壁幸子、福原博子：看護基礎教育における実習場面での看護シレンマに関する予備的調査－基礎看護学実習Ⅰを経験した学生の体験を通して－、第34回日本看護学会－看護教育－、2003年8月8日、石川厚生年金会館、金沢市

#### 4) その他 (学術記事・翻訳・研究ノート等)

- (1)古城幸子、難波正義、金山時恵、真壁幸子、木下香織、栗本一美、土井英子、太田浩子、福原博子、馬本智恵：両備樗園記念財団助成金 生物化学部門 表彰 両備スポーツマンクラブ15年10月1日「山間地域の在宅高齢者への健康・生活相談に関するITの活用－新見介護ネットワークの構築と利用者ニーズの分析－」

#### 7) 学会活動・社会活動等

- (1)古城幸子、金山時恵、真壁幸子、栗本一美、太田浩子：井倉市民センター講座 介護ネット「血圧についてのお話」2003年11月14日、井倉中学校  
(2)真壁幸子：千屋健康まつり 講演「生き生きすごそう心もからだも」 2003年11月22日、新見市千屋市民センター  
(3)真壁幸子：介護ネットによる健康相談  
(4)真壁幸子：介護認定審査会委員、阿新地域

## 松本百合美 (MATSUMOTO, Yurimi)

### 1) 単行本

- (1) 棚田裕二、谷口光治、松本百合美、関連用語 (分担)、澤田信子・中島健一・石川治江編、「福祉キーワードシリーズ介護」、中央法規出版株式会社、東京、2003年6月、P.214、P.216、

「介護って何だろう?」というコンセプトのもと、介護を実践する際の考え方や支える人や場、また介護を取り巻く話題などについての解説書。関連用語の項目の中で、「スーパービジョン」「コンサルテーション」「アドボカシー」他について解説した。

### 2) 雑誌論文等

- (1) 松本百合美、原蘭寿美子、樋口美智子、笠原幸子、前田優二、荒木和美、石田直美、小林香織、住居広士：介護保険の施行状況に関する社会福祉士調査、介護福祉研究第11巻第1号：PP.47-51、2003年6月7日

平成12年10月に行った「介護保険の施行状況に関する調査」を、広島県社会福祉士会会員を対象に行った。社会福祉士は介護福祉士に比較して、理念実践に対しプラス評価が多いことが明らかになった。しかし、介護支援専門員とサービス提供者の連携は取れていないとする傾向が強いことがわかった。また、利用者の主体性の尊重について、利用者本人よりも家族の希望が優先されているという意見があげられた。これらの結果から、社会福祉士の役割として、利用者と家族との連絡調整機能や現場スタッフへの家族の情報提供だけでなく、介護支援専門員への情報提供と連携強化、施設内での介護支援専門員のフォローと、施設と居宅の介護支援専門員間の連携のサポートが重要であることがわかった。また、多くの職種が介護専門員として働く中で、専門的な相談援助技術のスーパーバイザーとしての機能も果していく必要があることを示した。

- (2) 武田瑠美子、日下部みどり、住居広士、國定美香、宇野真智子、近藤和男、親本俊弥、曳木久美、松本百合美、亀山 徹、有村大士、山岡喜美子：ユニットケアにおけるケア時間の検証、介護福祉研究第11巻第1号：PP.71-74、2003年6月7日

ユニットケアを行っているK市の老人保健施設で、利用者、介護者の1分間タイムスタディ調査を行い、ケア時間を検証した。ユニットケアでは、一人の利用者に継続してケア提供が行われ、また、小さな空間の中に利用者・介護者がいることにより、「Aさんと一緒に洗濯物をたたみながら、Bさんを見守る」というように、複数の介護を同時に行う事ができ、介護時間の総合量を増加させることが明らかになった。

### 3) 学会発表

- (1) 伊吹典子、松本百合美：ユニットケアを目指して、第29回尾三因医学会発表、三原市、2003年6月22日
- (2) 松本百合美、住居広士、樋口美智子、國定美香、笠原幸子：介護保険の施行状況に関する意識調査—介護福祉士と社会福祉士の比較—、第11回日本介護福祉学会発表、松任市、2003年9月21日

### 7) 学会活動・社会活動等

- (1) 松本百合美：第11回広島「介護の社会化を進める市民委員会」、支援費制度でどうなる コメント、広島市、2003

## 松永美輝恵 (MATSUNAGA, Mikie)

### 3) 学会発表

- (1)井関智美、塚本幸恵、滝崎佐津紀、奥山明日香、種坂こずえ、藤井敬美、松永美輝恵、三上ゆみ：高齢者の家事行動の分析－高齢期（前期・後期）別および世帯別の比較－、第11回日本介護福祉学会大会、2003年9月20日・21日、金城大学、松任市

#### 7) 学会活動・社会活動等

- (1)井関智美、松永美輝恵、他学生6名：堀越ふれあいサロン レクリエーション等実施、2003年6月24日、堀越ふれあいサロン、新見市
- (2)井関智美、塚本幸恵、松永美輝恵：阿新地域ホームヘルパー協議会 講義・演習「全身清拭・洗髪について」、2003年8月30日、新見公立短期大学
- (3)松永美輝恵：上田学園ホームヘルパー2級養成講座 講義・演習「レクリエーション体験学習」、2003年9月7日、新見公立短期大学
- (4)松永美輝恵、井関智美、藤井敬美、他学生12名：新見市健康福祉まつり 新見公立短期大学コーナーにて手浴・足浴・健康茶試飲・健康体操を実施、2003年10月13日、まなび広場にいみ

### 難波正義 (NAMBA, Masayoshi)

#### 2) 雑誌論文等

- (1)Takahashi, S., Takahashi, T., Mizobuchi, S., Matsumi, M., Yokoyama, M., Morita, K., Miyazaki, M., Namba, M., Akagi, R. and Sassa, S.: CYP2E1 overexpression up-regulates both non-specific delta-aminolevulinate synthase and heme oxygenase-1 in the human hepatoma cell line HLE / 2E1. *Int. J. Mol. Med.* 11(1): 57-62, 2003

チトクローム2E1酵素が細胞の中で上昇すると活性酸素が増え、細胞に有害に働く。そのために、その活性酸素の毒性を取り除く機構が細胞の中でおこることを見いだした。

- (2)Harada, M., Kumemura, H., Sakisaka, S., Shishido, S., Taniguchi, E., Kawaguchi, T., Hanada, S., Koga, H., Kumashiro, R., Ueno, T., Suganuma, T., Furuta, K., Namba, M., Sugiyama, T. and Sata, M.: Wilson disease protein ATP7B is localized in the late endosomes in a polarized human hepatocyte cell line. *Int. J. Mol. Med.* 11(3): 293-298, 2003

銅代謝異常をおこすタンパク質の細胞内局在を見いだした。

- (3)Shishido, S., Koga, H., Harada, M., Kumemura, H., Hanada, S., Taniguchi, E., Kumashiro, R., Ohira, H., Sato, Y., Namba, M., Ueno, T. and Sata, M.: Hydrogen peroxide overproduction in megamitochondria of troglitazone-treated human hepatocytes. *Hepatology* 37(1), 136-47, 2003

糖尿病治療薬（Troglitazone）は肝臓細胞に活性酸素の産生を亢進させ、肝細胞の傷害をおこすことを見いだした。なお、薬は現在使用が禁止された。

- (4)Sakaguchi, M., Fukuishi, N., Teramoto, K., Miyazaki, M., Huh, NH, Namba, M. and Akagi, M.: Involvement of arachidonic acid in nonimmunologic production of superoxide in mast cells. *Int. Arch. Allergy Immunol.* 130: 288-299, 2003

アレルギーに関係するマスト細胞の活性酸素の産生にアラキドン酸が関与することを見いだした。

- (5)Yu, L., Ugai, S., O.-Wang, J., Namba, M., Kadomatsu, K., Muramatsu, T., Matsubara, S., Sakiyama, S. and Tagawa, M.: Cell growth- and P53-dependent transcriptional activity of the midkine promoter confers suicide gene expression in tumor cells. *Oncol. Rep.* 10(5): 1301-1305, 2003

ミドカイン遺伝子の発現を高めると腫瘍細胞が死滅することを報告した。

- (6)長尾嘉崇、曾根川裕之、浅田伸彦、難波正義：培養ヒト細胞による水の毒性検定—水道水でも培養はできる—Tiss. Cult. Res. Commun. 22:79—84、2003

水道水は人体にかなり有害ではと予想されている。我々は水道水は、この予想に反して、それほどヒト細胞に有害でないことを証明した。

- (7)Choi, H. H., Jong, H. S., Park, J. H., Choi, S., Lee, J. W., Kim, T. Y., Otsuki, T., Namba, M. and Bang, Y. J.: A novel ginseng saponin metabolite induces apoptosis and down-regulates fibroblast growth factor receptor 3 in myeloma cells. Int J Oncol. 23(4): 1087—1093、2003

朝鮮人参に含まれるサポニン、ヒト骨髄腫細胞を死滅させることを見いだした。

- (8)Sakaguchi, M., Miyazaki, M., Takaishi, M., Sakaguchi, Y., Makino, E., Kataoka, N., Yamada, H., Namba, M. and Huh, N. H.: S100C / A11 is a key mediator of  $Ca^{2+}$ -induced growth inhibition of human epidermal keratinocytes. J. Cell Biol. 163(4): 825—835、2003

ヒト皮膚細胞に分化はカルシウムに依存する。このカルシウム代謝に我々の見いだした S100C 蛋白質が関係することを報告した。

### 3) 学会発表

- (1)Sakaguchi, M., Namba, M. and Huh, N. H.: S100C mediates  $Ca^{++}$ -induced growth inhibition of human keratinocytes. American Association for Cancer Research 2003 Annual Meeting, July 11—14、2003、Washington, D. C., USA

ヒト皮膚角化細胞が分化して増殖を停止するのは、我々の見出した S100C 蛋白質を介して Ca が作用することを報告した。

- (2)Sakaguchi, M., Namba, M. and Huh, N. H.: S100C is a key mediator of  $Ca^{++}$ -induced growth inhibition of human epidermal keratinocytes. American Association for Cell Biology 43rd Annual Meeting, November 14—17、2003、San Francisco, CA, USA

ヒト皮膚角化細胞が分化して増殖を停止するには Ca が必要であるが、細胞内の Ca の移動に我々の見出した S100C 蛋白質が必須の役割を果たすことを報告した。

## 小野晴子 (ONO, Haruko)

### 1) 単行本

- (1)小野晴子：母の形見 (分担)、橋本和子他編、この母ありて、西日本法規出版 (岡山) 2003年 3月 24日、pp120—122

### 2) 雑誌論文等

- (1)東谷美恵子、山下妙子、林千加子、土井英子、定金直美、小野晴子：看護基礎教育終了時における看護技術の期待度—O 県中規模以上の病院の看護管理者に焦点をあてて—、岡山県看護教育研究会誌、1—5、2003年 8月

看護技術の習得においては、確実な看護技術の習得を目指しているが、学生の看護技術の経験にはバラツキも多く、技術項目によっては十分とはいえない。臨床現場では看護基礎教育終了時点の学生に看護技術の習得を、何をどこまで期待しているのか知るために O 県 200床以上の病院に勤務する看護管理者 224名、31施設の看護管理者を対象として調査した。回収率 68.0%であった。生活の援助技術は「臨地実習で実施」



し、できるところまで期待しており、診療の補助技術は「就職してから実施」が多く「かなり指導」し、できるまでは期待していないという結果であった。

- (2) 定金直美、土井英子、実盛美幸、東谷美恵子、山下妙子、林千加子、小野晴子：看護基礎教育終了時における看護技術の経験率と自己評価に関する実態調査、岡山県看護教育研究会誌、4 - 9、2003年8月

看護教育現場では、講義を始め、学内演習や臨床実習を通して、看護技術の確実な習得をめざして教授活動を行っている。しかし、近年、看護技術の低下が指摘されるなか、基礎教育終了時に看護技術をどの程度経験し、習得すべきか十分な検討が行われているとはいえない。本稿では、卒業直前の看護師養成施設複数校の看護学生を対象に、看護技術の経験や自己評価を調査した。診療補助技術は未経験率が日常生活援助技術に比べて高く、診療の補助技術は自己評価が低い結果であった。

### 3) 学会発表

- (1) 林千加子、山下妙子、東谷美恵子、土井英子、定金直美、小野晴子：看護基礎教育終了時における看護技術の期待度 - O 県中規模以上の病院の看護管理者に焦点をあてて -、第34回日本看護学会看護管理学会、三重県三重総合福祉センター、2003年11月7日
- (2) 東谷美恵子、山下妙子、林千加子、土井英子、定金直美、小野晴子：看護基礎教育終了時における看護技術の期待度 - O 県中規模以上の病院の看護管理者に焦点をあてて -、岡山県看護教育研究会、川崎医療福祉大学、2003年8月23日
- (3) 真壁幸子、太田浩子、土井英子、金山時恵、小野晴子、古城幸子：3年間のリスクマネジメント研修の評価と参加者の意識の変化 - 臨地実習施設連絡会議にて - 日本看護学教育学会第13回学術集会、長野県長野ビッグハット、2003年8月2 - 3日
- (4) 定金直美、土井英子、実盛美幸、東谷美恵子、山下妙子、林千加子、小野晴子：看護基礎教育終了時における看護技術の経験率と自己評価に関する実態調査、日本看護研究学会 近畿／中国・四国地方会、第16回学術集会、神戸 UNITY、2003年3月16日
- (5) 小野晴子、土井英子、杉本幸枝：静脈注射に関する基礎看護教育の現状、岡山臨床看護研究学会、岡山大学医学部保健学科、2003年3月9日

### 4) その他 (学術記事・翻訳・研究ノート等)

- (1) 小野晴子：OKAYAMA 看護協会だより、中国・四国地区看護研究学会報告、岡山看護協会、2003年3月3日
- (2) 杉本幸枝 土井英子 小野晴子：クラレメディカル受託研究「粘弾性樹脂 (ゲル) を素材としてリサイクル可能な床ずれ予防具の評価」

### 7) 学会活動・社会活動

- (1) 小野晴子：岡山県看護教育研究会会長2003年～2004年
- (2) 小野晴子：第10回岡山臨床看護研究学会、座長、岡山大学医学部保健学科、2003
- (3) 小野晴子：岡山県看護協会「まちの保健室」ボランティア、岡山市、2003～現在
- (4) 小野晴子：岡山県看護協会 専門能力向上・開発研修会「看護研究Ⅱ」アドバイザー
- (5) 小野晴子：岡山県看護協会 老年・地域学会座長 岡山県看護協会、2003
- (6) 小野晴子：講演・講評、岡山県看護協会備前支部看護研修会、赤磐医師会病院 (備前市)、2003
- (7) 小野晴子：講演・講評、平成15年度看護部継続研修、川崎医科大学附属川崎病院 (岡山市) 2003

(8)小野晴子：講演・講評、児島中央病院、院内看護研究会、2003

## 太田浩子 (OOTA Hiroko)

### 1) 単行本

- (1)太田浩子、「母の背」、橋本和子、道廣陸子、谷田恵美子編著、この母ありて、西日本法規出版(岡山)、2002年3月24日、pp44-45

看護職としての原点である母への思いを語った。

### 2) 雑誌論文等

- (1)栗本一美、太田浩子、古城幸子、金山時恵、白神幸子：看護基礎教育における実習場面での看護ジレンマに関する予備的調査－基礎看護学実習Ⅰを経験した学生の体験を通して－、第34回日本看護学会論文集－看護教育－、pp44-46、2003年12月26日

基礎看護学実習Ⅰに臨んだ学生を対象に、学生が臨床場面で感じた看護ジレンマをどのように対処したのかを分析し、教育上の対応策を検討した。その結果、学生は臨床場面で看護ジレンマを感じてはいるが、その看護ジレンマがどのような性質・内容であるか考える段階で止まっていることが分かった。教育的対応として「何が倫理的問題かに気づく力」と「どうしたら解決できるか考える力」などを育成していく必要があることが分かった。

### 3) 学会発表

- (1)栗本一美、古城幸子、金山時恵、太田浩子、白神佐知子、木下香織、真壁幸子、福原博子：看護基礎教育における実習場面での看護ジレンマに関する予備的調査－基礎看護学実習Ⅰを経験した学生の体験を通して－、第34回日本看護学会－看護教育－、2003年8月8日、石川厚生年金会館、金沢市
- (2)真壁幸子、太田浩子、土井英子、金山時恵、古城幸子、小野晴子：リスクマネジメント研修における参加者の意識の変化－3年間の臨地実習施設連絡会議の評価－、日本看護教育学会第13回學術集会、2003年8月2日、長野市ビックハット・若里市民ホール、長野市

### 7) 学会活動・社会活動等

- (1)古城幸子、難波正義、金山時恵、真壁幸子、木下香織、栗本一美、土井英子、太田浩子、福原博子、馬本智恵：両備裡園記念財団助成金 生物化学部門 表彰 両備スポーツマンクラブ15年10月1日「山間地域の在宅高齢者への健康・生活相談に関するITの活用－新見介護ネットワークの構築と利用者ニーズの分析－」
- (2)古城幸子、金山時恵、真壁幸子、栗本一美、太田浩子：井倉市民センター講座 介護ネット「インターネットで遊ぼう」2003年11月14日、井倉中学校
- (3)太田浩子、新見介護ネットワーク、健康相談

## 白神佐知子 (SHIRAGAMI, Sachiko)

### 3) 学会発表

- (1)栗本一美、太田浩子、古城幸子、金山時恵、白神佐知子：看護基礎教育における実習場面での看護ジレンマに関する予備的調査－基礎看護学実習Ⅰを経験した学生の体験を通して－、第34回日本看護学会 看護教育、2003年8月7・8日、石川厚生年金会館、石川県金沢市

## 杉本幸枝 (Sugimoto, Yukie)

### 2) 雑誌論文等

- (1) 森將晏、小山恵美子、掛橋千賀子、杉本幸枝、七川正一：黒色壊死組織の病理学的検討、日本褥瘡学会誌 4 巻 3 号、353-357、2002

### 3) 学会発表

- (1) 小野晴子、土井英子、杉本幸枝：静脈注射に関する基礎看護教育の現状、岡山臨床看護研究学会、2003年3月9日、岡山市
- (2) 小原幸子、黒川久美子、坂門直美、杉本幸枝：当院の褥瘡予防対策、岡山臨床看護研究学会、2003年3月9日、岡山市
- (3) 清板恭子、小原幸子、坂門直美、山崎 恵、杉本幸枝、片岡節子：当院の褥瘡対策未実施減算制度導入とそれ以前の対策との比較－褥瘡面積の縮小率での検討－、倉敷褥瘡研究会、2003年8月21日、倉敷市

### 4) その他 (学術記事・翻訳・研究ノート等)

- (1) 小野晴子、杉本幸枝、土井英子：クラレメディカル受託研究、粘弾性樹脂 (ゲル) を素材としたリサイクル可能な床ずれ予防具の評価、2003年1月1日～3月31日
- (2) 古城幸子、金山時恵、杉本幸枝、木下香織、真壁幸子、栗本一美、太田浩子、土井英子：両備糧園記念財団助成金 生物化学部門 表彰 両備スポーツマンクラブ、2003年10月1日

### 7) 学会活動・社会活動等

- (1) 杉本幸枝：「褥瘡の予防とケア」、新見中央病院研修会、2003年8月22日、新見市
- (2) 杉本幸枝：新見介護ネット
- (3) 杉本幸枝：岡山県看護協会教育委員

## 高月教恵 (TAKATSUKI, Norie)

### 1) 単行本

- (1) 八重樫牧子、荒井慶子、奥山清子、高月教恵、中川一良、西崎博子、林 基子、向井真千子、本保恭子、山口三重子：公的な報告書等にみられる児童観 (分担)・付属資料2 (分担)、「児童観の歴史的変化に関する研究」、八重樫牧子編著、厚生労働省平成14年度児童環境づくり等総合調査研究事業研究助成研究報告、財団法人こども未来財団、東京都、2003年3月、pp.23-28・pp.63-75

戦後の児童観および子育て観の変遷を、厚生白書・子どもの問題・公的な報告書等から検討・考察したものである。1945年から1973年の公的報告書にみられる児童観について (第3章1節・2節)、執筆を担当する。

- (2) 高月教恵、岡崎多美子、福島雅世、梶田文子、富田万智子、船越 愛、柴田英里、松田啓子、難波美穂、前川真由美、福田恵美、西谷麻由子「教師の役割と専門性 (個と集団・家庭との連携)」、鳥海十児監修、朝日塾幼稚園・保育園、岡山市、2003年8月21日

全国私立幼稚園連盟中国地区岡山県代表研究指定園の朝日塾幼稚園・保育園の研究会指導を、2002年3月から2003年8月まで行った。その研究結果を、幼稚園教諭・保育士と共にまとめたものである。2002年3月から8月までは、自由遊び場面における子どもの行動観察記録を中心に、子どもの育ちと園と家庭との個人

的ななかわりについて考察した。さらに、2002年9月から2003年3月までは、集団経験を中心に、個と集団と園と家庭との連携について考察した。A4版全155頁を共同で執筆する。

## 2) 雑誌論文等

- (1)奥山清子、林 基子、高月教恵：モンテッソーリ教師の自己教育について、日本モンテッソーリ学会誌「モンテッソーリ教育」、第35巻、pp.80-87、2003年3月20日

日本モンテッソーリ協会中国支部において、1999年11月から2003年2月までの5回の支部研修会についてのアンケート調査に基づいて、モンテッソーリ教育における教師の自己教育と研修会のあり方について考察したものである。

## 3) 学会発表

- (1)高月教恵：昭和13年度奈良女子高等師範学校附属幼稚園保育の実際、日本保育学会第56回大会、2003年5月17日、グランシップ（静岡県コンベンションアーツセンター）、静岡市、研究論文集 pp.4-5
- (2)藤井伊津子、高月教恵：乳幼児の自然環境について(1)-春を中心に-、日本保育学会第56回大会、2003年5月18日、グランシップ（静岡県コンベンションアーツセンター）、静岡市、研究論文集 pp.572-573

## 7) 学会活動・社会活動等

- (1)高月教恵：2003年度岡山県保育士試験委員
- (2)高月教恵：2003年度新見市雇用促進委員会委員
- (3)高月教恵：2003年度全国私立幼稚園連盟中国地区岡山県研究会指導（1月から8月まで月2回、指定園：朝日塾幼稚園）
- (4)高月教恵：2003年度岡山県保育研究大会阿新地区研究会指導（11月から月2回、指定園：大佐幼児教育センター）
- (5)高月教恵：新見阿哲幼稚園教育研究会主任部会研修会講師「幼児教育の問題点と語る会について」、阿新教育会館、2003年1月10日
- (6)高月教恵：園内職員研修会講師「園全体で取り組む保育について」、若竹の園（倉敷）、2003年2月24日
- (7)高月教恵：阿新栄養改善協議会・阿新愛育委員連合会・阿新管内市町村事務局担当者会講演「ボランティア組織の地域子育て支援の役割」、まなび広場学習室、2003年3月4日
- (8)高月教恵：愛育委員協議会職員研修会講師「地域における子育て支援」、きらめき広場（哲西町）、2003年4月7日
- (9)高月教恵：日本保育学会第56回大会口頭発表I座長「保育思想・保育理論・保育史1」、グランシップ（静岡県コンベンションアーツセンター）、2003年5月17日
- (10)高月教恵：園内職員研修会講師「遊びの中で育つ保育環境について」、若竹の園（倉敷）、2003年6月6日
- (11)高月教恵：保護者会講演「モンテッソーリ教育と基本的生活習慣について」、奈良佐保短期大学附属倉敷幼稚園、2003年6月10日
- (12)高月教恵：全国私立保育園第46回研究大会分科会助言者「3歳児の生活と遊び」、ピュアリティまきび、2003年6月26日

- (13)高月教恵：夏季保育指導「モンテッソーリ教育活動」、奈良佐保短期大学附属倉敷幼稚園 3・4・5歳児、2003年7月26日
- (14)高月教恵：第10回教職の集い講演「子どもの生活と遊び」、ノートルダム清心女子大学、2003年8月4日
- (15)高月教恵：園内職員研修会講師「教育課程の再編成」、奈良佐保短期大学附属倉敷幼稚園、2003年8月19日・2003年12月13日
- (16)高月教恵：第2回大佐サポータ養成講座講師「今、なぜ地域の子育て支援が必要か」・「夢を語ろう」、社会福祉法人大佐町社会福祉協議会子育て支援センター、2003年9月30日・2003年10月3日
- (17)高月教恵：平成15年度倉敷市私立幼稚園協会Cグループ公開保育研究会講演「心を培うー感じる心ー」、倉敷マリア幼稚園、2003年10月15日
- (18)高月教恵：育児講座講師「家庭における子育てについて」、哲西幼児学園、2003年10月18日
- (19)高月教恵：教員研修講師「幼稚園における学校外部評価について」、矢掛幼稚園・美川幼稚園、2003年11月29日
- (20)高月教恵：園内職員研修会講師「モンテッソーリ教具の提供のしかたについて」、若竹の園（倉敷）、2003年12月2日

## 上山和子 (UEYAMA, Kazuko)

### 7) 学会活動・社会活動等

- (1)保育サポータ養成講座での講演、医療看護「乳幼児の安全な生活のために：緊急時の応急処置について」2003年10月2日、社会福祉法人大佐町社会福祉協議会、大佐町町民センター

## 山中 文 (YAMANAKA, Aya)

### 2) 雑誌論文等

- (1)矢藤誠慈郎、岡本和子、山中 文、光本弥生、諏訪英広、湯藤定宗、須河内貢：保育者養成カリキュラムに対する保育現場のニーズに関する調査研究、平成14年度全国保育士養成協議会ブロック研究助成および報告書、2003年

保育士養成過程のカリキュラム改善に資する資料を得るために、保育現場における養成カリキュラムへのニーズを調査し、その結果の分析・考察を行なった。本研究は、全国保育士養成協議会および中四国保育士協議会の二件から助成を受けた研究である。本研究の成果を踏まえ、来年度カリキュラム改善に関する提案を行なう予定である。

### 7) 学会活動・社会活動等

- (1)山中 文：保育現場における音楽指導の専門性、平成15年度中四国保育士養成協議会研究助成

## 山内 圭 (YAMAUCHI, Kiyoshi)

### 1) 単行本

- (1)山内 圭他51名：『ウィズダム英和辞典』（分担）、井上永幸、赤野一郎編、三省堂、東京、2003年1月10日

日本人の英語学習のためにつくられた独自のコーパスを全面的に活用した初の英和辞典。項目選定、語義解説、用例、語法解説などすべてが英語の実例分析に裏打ちされた詳細で生きた情報。最先端の語法情報で、あらゆる受験問題に対応。コミュニケーションにすぐ使える発信型辞書。総収録項目数約9万2千。最重要語には思い切ってスペースを割き、類書を圧倒する情報量を実現。2色刷。

- (2)山内 圭他99名：『レクシス英和辞典』（分担）、花本金吾、野村恵造、林龍次郎編、旺文社、東京、2003年1月10日

高校生から社会人まで使える新タイプの英和辞典。大学入試・英検問題や膨大な言語資料に基づき、学習英和最大級の9万8千項目（成句・熟語3万を含む）を収録。英語運用能力を無理なく楽しくつけられるように、新しい試みを豊富に盛り込む。英語圏の使用実態が分かる『プラネットボード』（PB）、定型会話表現（Communicative Expressions〈CE〉）欄、発信者の心情や場の状況を注記したコミュニケーション情報（ハートマーク）、言い換え表現（上下の丸矢印）などは、一目で分かるアイコンで表示。さらに文型・類語・連語・語法・語源・和英表現比較・名言名句など工夫満載。多義語や重要語には、旺文社のノウハウを活かした『語義の要約』『類語パネル』を配し、また2色を活かして単語レベルや発音注意語を表現するなど、学習しやすい紙面構成。引くだけでなく、読む楽しさをも味わえる辞典。

### 3) 学会発表

- (1)山内 圭：『怒りの葡萄』の演劇化と映画化、中・四国アメリカ文学会秋季研究会、2003年9月13日、安田女子大学、広島市  
(2)山内 圭：ニューヨークで同時多発テロと大停電に遭遇して、新生言語文化研究会第95回例会、2003年9月14日、日本大学文理学部、東京都世田谷区  
(3)山内 圭：英和辞典執筆よもやま話、第10回備北人文科学学会、2003年12月12日、新見公立短期大学、新見市

### 4) その他（学術記事・翻訳・研究ノート等）

- (1)山内 圭：新見から世界へ、新見公立短期大学学報まんさく25号、p. 1、2003年3月3日  
新見公立短期大学の国際化について報告  
(2)山内 圭：アルフレッド・H・マークス著ニューパルツとザ・プファルツ（翻訳）、人文学論叢第1巻、備北人文科学学会：pp. 55-60、2003年3月31日  
(3)山内 圭：英語ニュースを読もう！（連載記事）、大学進学ジャーナル（学研大学受験指導センター）、2003年4月号-12月号、毎号 pp. 2-3、2003年4月-12月  
大学受験生が英語ニュースを親しんで読めるよう、毎回時事的なニュースを取り上げ、語句や構文の解説、日本語訳等をつけた学習記事。取り上げた題材に関するコラムも執筆。大学入学試験に頻出の時事英語対策になるとともに、小論文の参考となることも目指す。取り扱った内容は、第1回「松井秀喜、ヤンキース入団」、第2回「新幹線居眠り運転」、第3回「新型肺炎SARS」、第4回「イラク戦闘終結宣言」、第5回「東北地方で大地震発生」、第6回「ベッカム選手来日」、第7回「イラン双子分離手術失敗」、第8回「ニューヨーク大停電」、第9回「冷夏による米不作」。  
(4)山内 圭：EIGO CLUB CORNERS「（よい）結果を出す、（よい）結果を残す」、英語青年、2003年6月号、研究社、p. 59、2003年6月1日

英語関係の専門誌『英語青年』で様々な英語表現を紹介する同欄において、「（よい）結果を出す、（よい）結果を残す」となる“produce”の自動詞表現を紹介した。

- (5)Yamauchi, K. : Safe return to our Sister City, *New Paltz Times* 2003. 8. 28、pp.26-28 (姉妹都市への安全な帰還)

8月上旬研修旅行でニューパルツ・ヴィレッジを訪問した後、ニューヨーク・シティに於いて遭遇した大停電についての報告文を寄稿したもの。

- (6)Yamauchi, K. : Thank you and *Domo Arigato*, *New Paltz Times* 2003. 9. 4、pp.20-22 (どうもありがとうございました)

8月上旬の研修旅行での研修内容、お世話になった方々や諸機関に対するお礼などを述べた文章。

- (7)山内 圭：大学部会が設置されました、大佐町国際交流だより vol. 7、p. 6、2003年9月

大佐町国際交流協会において、姉妹都市ニューパルツ・ヴィレッジにあるニューヨーク州立大学ニューパルツ校と新見公立短期大学との間の交流事業を担当する大学部会が設置され、部会長に就任した際の、挨拶文。両大学の交流を紹介し、今後、日米姉妹都市交流についての研究を手掛けていくことを述べる。

- (8)Yamauchi, K. : Osa delegation commemorates 9/11, *New Paltz Times* 2003. 10. 4、p.29 (大佐町訪問団9月11日を思い起こす)

2001年9月11日、ニューヨークの空港で同時テロに遭遇した大佐町からニューパルツ・ヴィレッジへの訪問団が2周年となる2003年9月11日に集まったことを報告した文章。テロのため引き返した訪問団を親切にお世話してくれたニューパルツ・ヴィレッジの方々への感謝の気持ちを述べる。

- (9)Yamauchi, K. : Craig Shankles' sculpture in Osa Town, *New Paltz Times* 2003. 11. 6 : p.28

(クレイグ・シャンクルズ氏の彫刻大佐町に)

ニューパルツ・ヴィレッジと大佐町との芸術交流で、ニューパルツ・ヴィレッジの彫刻家 Craig Shankles 氏の彫刻作品が大佐町大日高原の交流の森に設置され、除幕式が開催されたことを報告する文章。

- (10)山内 圭：Viva 坪井清彦先生、日本スタインベック協会 *Newsletter* No.36 (故坪井清彦先生追悼号)、p. 8、2003年12月15日

2003年9月23日にご逝去された、日本スタインベック協会第2代会長の坪井清彦先生(岡山大学名誉教授)への追悼文。

#### 7) 学会活動・社会活動等

- (1)Andrew Schick、山内 圭：ボランティア英語通訳養成講座、新見市国際交流協会、新見市山村開発センター、2003年1月9日、16日、23日、30日、2月6日、13日、20日、27日、3月6日、13日

- (2)山内 圭：親子で遊ぼう English、新見市立思誠小学校教育講演会、新見市立思誠小学校、2003年1月22日

- (3)山内 圭、Kelly Goodknecht：平成14年度初級英会話教室「ケリー先生と英語でお友達になろう!」、大佐町国際交流協会、大佐町交流センター、2003年2月4日、3月4日

- (4)山内 圭、Kelly Goodknecht：平成15年度初級英会話教室、「ケリー先生と英語と日本語で話そう!」、大佐町国際交流協会、大佐町交流センター、2003年7月22日、8月26日、9月26日、10月28日、11月18日、12月16日

- (5)山内 圭：新見市立思誠小学校教員英語研修会講師、新見公立短期大学、2003年7月25日

- (6)Candace Mocko, Yamauchi, K. : St. Francis Hospital Good Health Show (WGBH 95.0、interviewed by Larry Hughes) 2003. 8. 8 (ラジオ出演)

- (7)山内 圭：アメリカ合衆国ニューヨーク州ニューパルツ・ヴィレッジ芸術交流訪問団通訳、大佐町・新見市・広島市、2003年10月13日－18日
- (8)山内 圭：入門期における英語指導、国際理解と国際交流、大佐町教育研修所国際理解部会研修会、大佐町立大佐中学校、2003年12月16日
- (9)山内 圭：大佐町からアメリカ合衆国ニューヨーク州ニューパルツ・ヴィレッジへの芸術交流訪問通訳、2003年12月29日－2004年1月2日
- (10)日本スタインベック協会 *Steinbeck Studies* 編集委員、2001－2004
- (11)大佐町行政改革推進委員会副会長、2001－2003
- (12)新見市国際交流協会理事、2002－
- (13)日本時事英語学会 *Newsletter* 副編集長、2002－
- (14)大佐町国際交流協会大学部会長、2003－

### 吉村淳子 (YOSHIMURA, Junko)

#### 5) 演奏・上演等

- (1)ピアノ吉村淳子・ソプラノ萩原郁子 ヘンデル「ラルゴ」 モーツァルト オペラ「フィガロの結婚」より「ポル ジア モール」ほか 「照葉樹」ファミリーコンサート 新見公立短期大学学生会館 2003年6月29日

#### 7) 学会活動・社会活動等

- (1)新見かしの木基金運営委員



〈公開講座等〉

平成15年度第31回出張公開講座

月 日	題 目	講 師	受講者数
5月15日（木）	清潔な介護について	新見公立短期大学助教授 金 山 時 恵	100
		新見公立短期大学助手 栗 本 一 美	
8月6日（水）	暦の話	新見公立短期大学助教授 岩 崎 竹 彦	30
8月7日（木）	ウイルス（サーズ）	新見公立短期大学教授 宇 野 文 夫	100

平成15年度岡山県生涯学習大学

◎講座名「ふるさとの時間、ふるさとの文化」

月 日	題 目	講 師	受講者数
10月3日（金）	ふるさと	新見公立短期大学助教授 岩 崎 竹 彦	22
10月10日（金）	般若心経と心理学1	新見公立短期大学教授 村 中 哲 夫	28
10月17日（金）	般若心経と心理学2	新見公立短期大学教授 村 中 哲 夫	26
10月24日（金）	悟覚の心理学	新見公立短期大学教授 村 中 哲 夫	18
10月31日（金）	日本の文化・日本の耳	新見公立短期大学講師 吉 村 淳 子	24
11月7日（金）	音と癒し	新見公立短期大学講師 吉 村 淳 子	19
11月14日（金）	昔を語ることの喜び －民族文化を用いた回想法－	新見公立短期大学助教授 岩 崎 竹 彦	20
11月21日（金）	同齡集団がつくるふるさとの絆	新見公立短期大学助教授 岩 崎 竹 彦	21

◎講座のテーマ「ふるさとの時間、ふるさとの文化」

月 日	題 目	講 師	受講者数
10月3日（金）	晴れきった空はふるさと	カツマル醤油醸造(株)代表取締役社長 岡 本 研 吾	20
10月10日（金）	ふるさとの文化財	新見市教育委員会生涯学習課文化財保護主任 石 黒 勉	25
10月17日（金）	土と水の恵み	新見ふるさと塾21塾長 平 田 隆 邦	22
10月24日（金）	ふるさとの水と米	三光正宗(株)代表取締役 宮 田 廉 吾	19
10月31日（金）	ふるさとのこころ、ふるさとのかたち① ～かのさと体験観光協会から～	備北新聞社代表 仲 田 芳 人	21
11月7日（金）	ふるさとのこころ、ふるさとのかたち② ～かのさと体験観光協会から～	備北新聞社代表 仲 田 芳 人	18
11月14日（金）	ふるさと学習の実践	新見千屋中学校校長 瀧 田 澄 正	18
11月21日（金）	ふるさとの住宅改造	新見ほのぼの住宅研究会事務局長 安 達 悦 久	19